

社会調査 第13回・第14回

早稲田大学政治経済学部

2018年度秋学期

西郷浩(前半)・土屋隆裕(後半)

本日の目標

- 第13回 総務省統計資料館・統計図書館見学
 - 本日(2018年11月12日)4限に実施
- 第14回講義
 - 総務省「社会生活基本調査」
 - 「社会生活基本調査」の利用例

「社会生活基本調査」

1. 調査の目的

- － 統計法に基づく基幹統計『社会生活基本統計』を作成するための統計調査。
- － 生活時間の配分や余暇時間における主な活動の状況など、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ること。

2. 調査の沿革

- － 1976年の第1回実施から5年毎。
 - ・ [変遷](#)

「社会生活基本調査」

3. 調査の時期

- － 2016(H28)年10月20日現在。
- － 生活時間の配分については、10月15日～23日の9日間のうちから、調査区ごとに指定された連続する2日間について調査した。

4. 調査の根拠法令

- － 統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査。

「社会生活基本調査」

5. 調査対象

- － 抽出した全国の約7,300調査区内にある世帯のうちから、無作為に抽出した約8万8千世帯の10歳以上の世帯員約20万人。
- ただし、以下を除外した。
 - － 平成28年熊本地震の影響が大きい地域
 - － 外国の外交団など
 - － 病院、療養所などに入院している人など

「社会生活基本調査」

6. 抽出方法

－ 層化二段抽出法

- 層化

- － 都道府県

- 一段目抽出

- － 都道府県内で調査区を次の基準により配列

- » a 大都市圏に含まれるか否か; b 人口集中地区に含まれるか否か; c 市町村の人口階級; d 調査区の特徴(調査区番号の後置番号); e 市区町村コード; f 調査区番号

- － 各調査区の人口を累積し、累積した人口に基づく確率比例系統抽出法によって調査区を抽出した

「社会生活基本調査」

- 二段目抽出

- 抽出した各調査区について、調査日の前に調査員が調査区内の全世帯を訪問し、世帯一覧を作成する。
- 作成した世帯一覧を基に乱数によって抽出起番号を定め、調査区ごとに定められた抽出率を用いて12世帯を抽出した。
 - » 不在のため調査書類の配布ができなかった場合の措置
 - 何度か訪問する。
 - やむを得ない理由により、調査を行うことができない世帯があった場合は、結果精度を確保するため、調査世帯を追加抽出しました。

「社会生活基本調査」

7. 調査項目

－ 生活行動の関する項目

- ・ 調査日から過去1年間の行動

－ 生活時間に関する項目

- ・ 曜日ごとの結果を集計するため、標本調査区を無作為に8つのグループに分ける。
- ・ グループごとに10月15日から10月23日までの9日間のうち連続する2日間を調査日として調査した。

「社会生活基本調査」

－ 調査票

- [調査票A](#)

- － プリコード

- [調査票B](#)

- － 自由記入（アフターコーディング）

- » [記入の手引き](#)

「社会生活基本調査」

8. 調査の方法

－ 調査の系統

- 総務大臣－都道府県知事－指導員－調査員－調査世帯

－ 調査の実施

- 調査員（調査員の事務の一部を行う指導員を含む）が調査世帯ごとに10月上旬から中旬に調査票を配布した。

－ 報告の方法

- 調査票を調査員等に提出 or インターネット

「社会生活基本調査」

9. 結果の集計

- － 独立行政法人統計センターにおいて集計された。

10. 結果の公表

- － 集計の完了したものから順次、インターネットを利用する方法等により公表される。
 - ・ 生活時間に関する集計
 - ・ 生活行動に関する集計

「社会生活基本統計」の利用例

- 生活時間に関連する結果
 - 1次活動
 - 睡眠、身の回りの用事、食事
 - 「年を取るほど睡眠時間が短くなる」は本当か？
 - 2次活動
 - 通勤・通学、仕事、学業、家事、介護・看護、育児、買い物
 - 3次活動
 - 移動(通勤等以外)、テレビ等、学習等(学業以外)、趣味等、スポーツ、ボランティア等、交際等、受診等、他

「社会生活基本統計」の利用例

図1: 一日の活動時間(男)

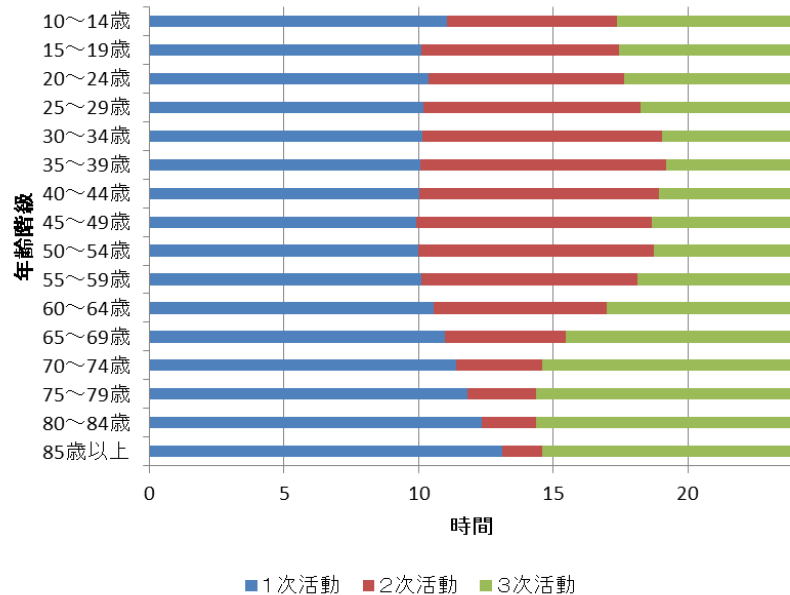
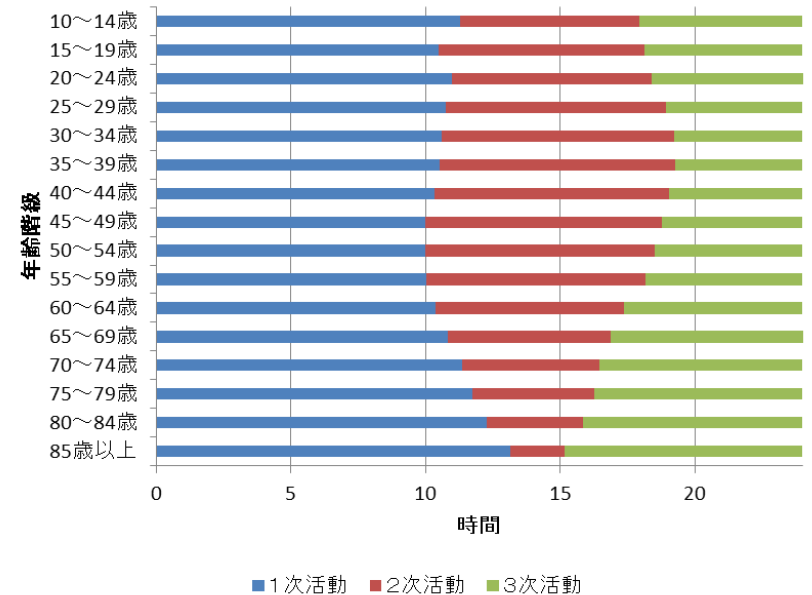


図2: 一日の活動時間(女)



資料: 総務省「社会生活基本統計」(2016年調査)

「社会生活基本統計」の利用例

図3: 1次活動内の時間配分(男)

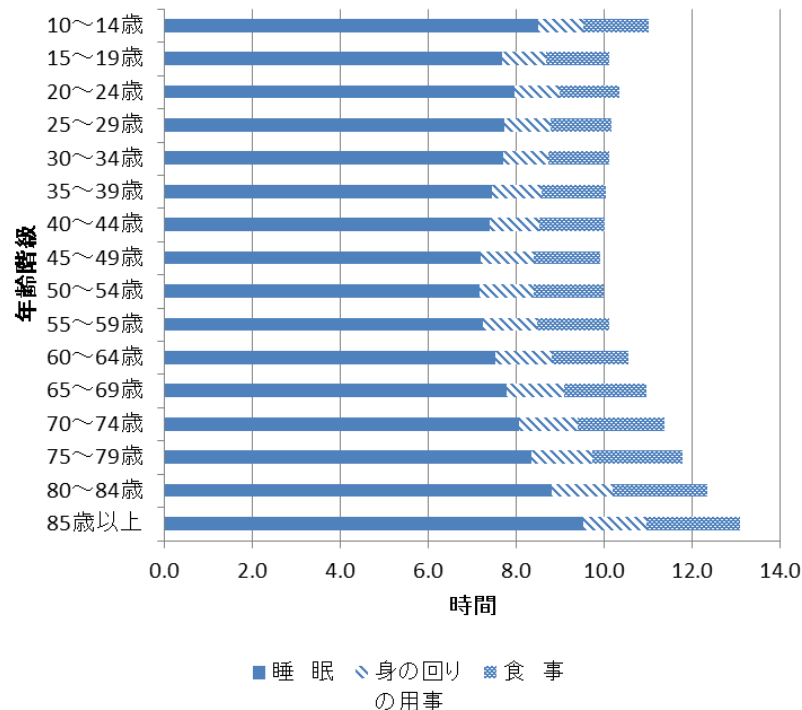
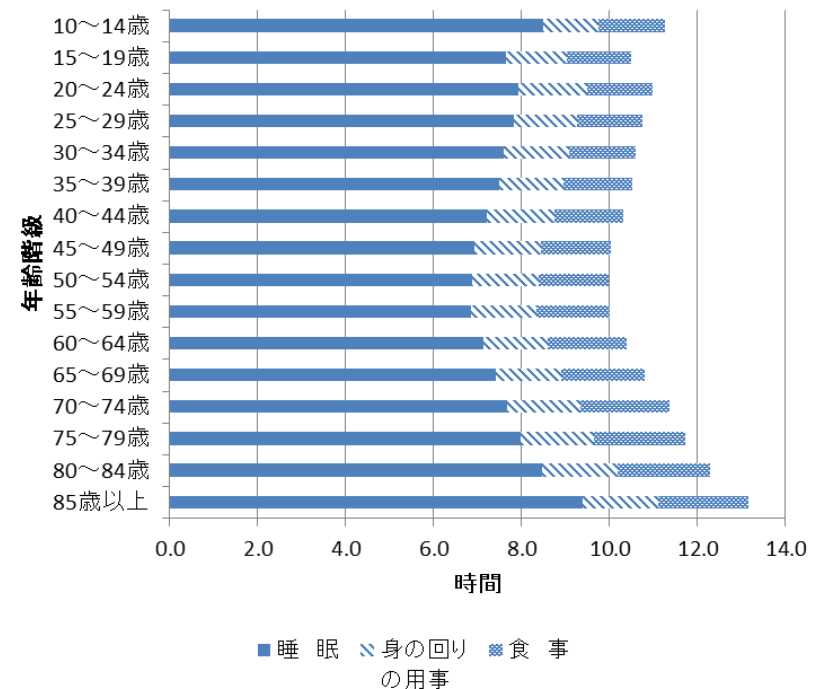


図4: 1次活動内の時間配分(女)



資料: 総務省「社会生活基本統計」(2016年調査)

「社会生活基本統計」の利用例

図5: 年齢階級別2次活動の時間配分(男)

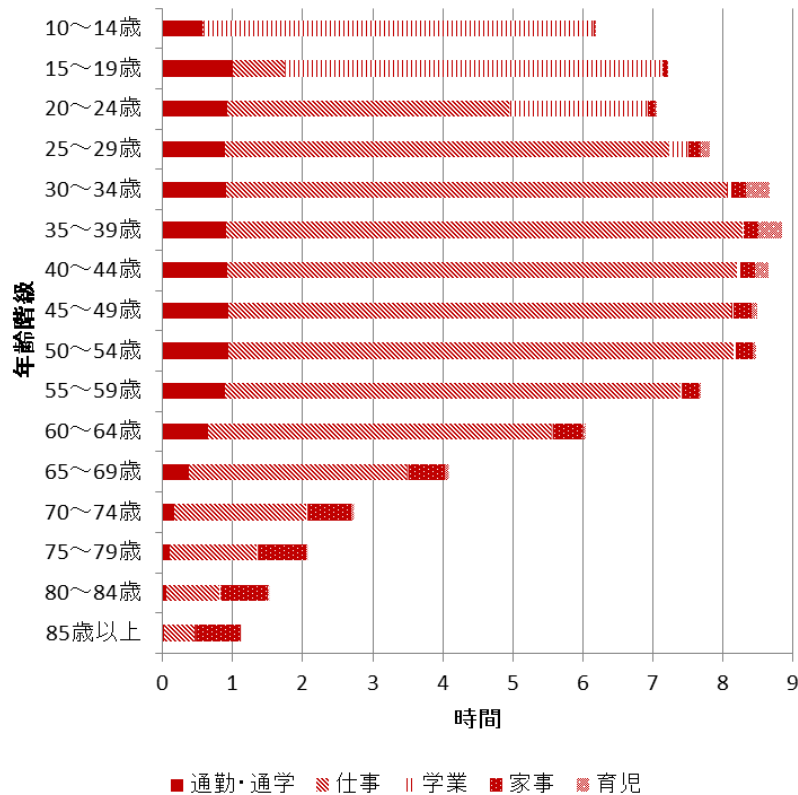
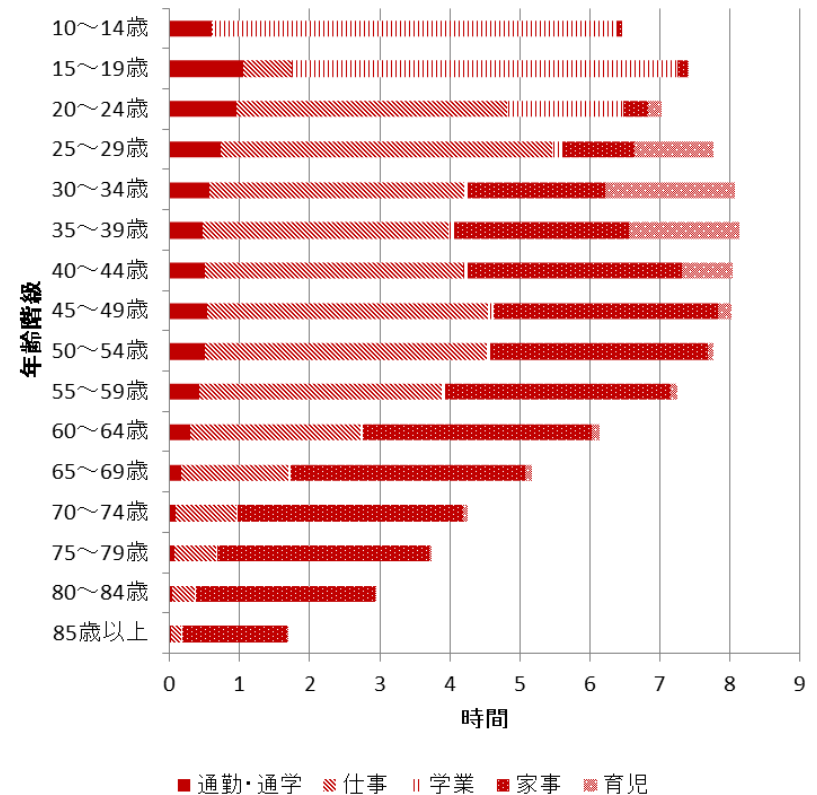


図6: 年齢階級別2次活動の時間配分(女)



資料: 総務省「社会生活基本統計」(2016年調査)

「社会生活基本統計」の利用例

図7: 年齢階級別3次活動の時間配分(男)

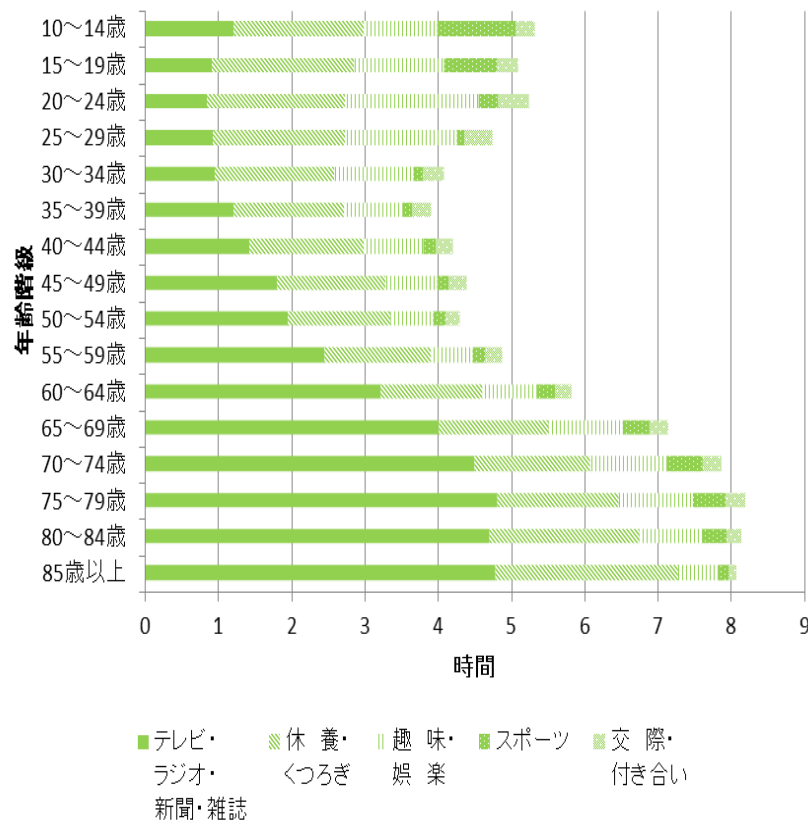
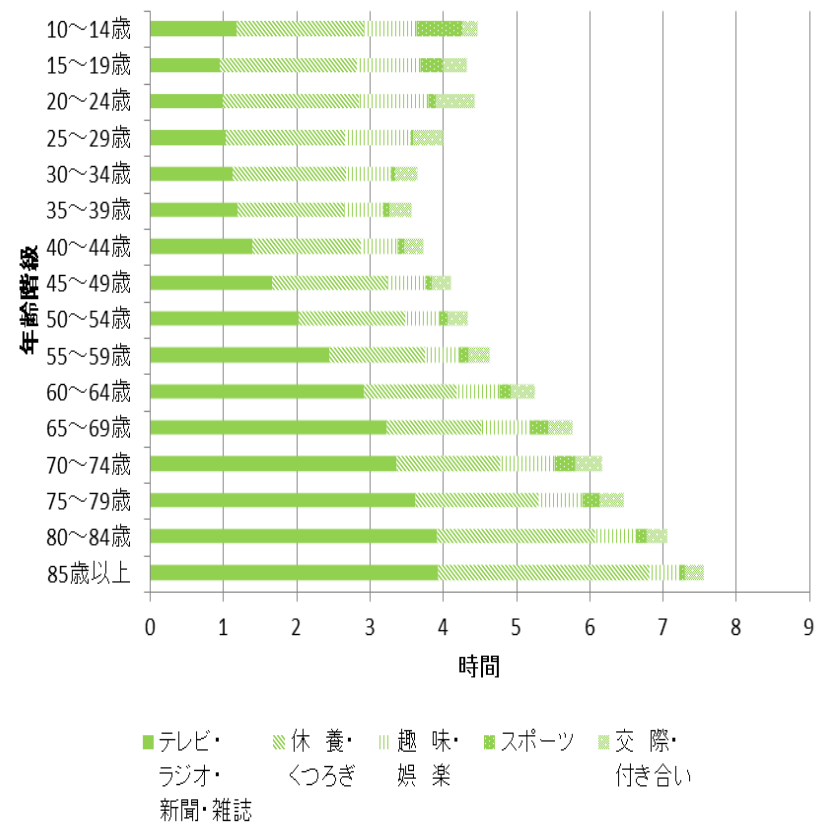


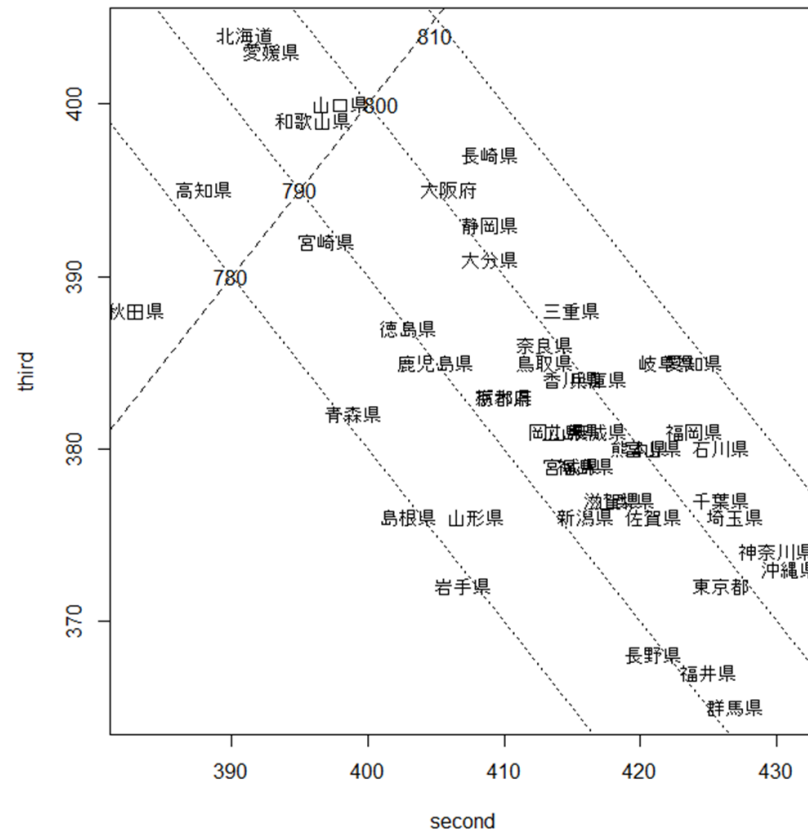
図8: 年齢階級別3次活動の時間配分(女)



資料: 総務省「社会生活基本統計」(2016年調査)

「社会生活基本統計」の利用例

図9：都道府県別活動の時間配分



資料：総務省「社会生活基本統計」（2016年調査）

注 (1) 右上がりの直線は、原点を通る45度線である。

(2) 右下がりの直線4本のそれぞれの上では、2次活動と3次活動の時間の和が等しい。たとえば、一番上の直線では両者の和が810分である。

「社会生活基本統計」の利用例

- 時間帯別行動者率

- 行動者率＝行動者数/人口

- 特定のグループ(男女別や年齢階級)別にも集計されている。
 - 時間帯別にも集計されている。
 - グループ間の時間の使い方を比較できる。

- » 例

- 男女
 - 男女・高齢者(65歳以上)・配偶関係

「社会生活基本統計」の利用例

図10: 時間帯別交際等行動者率(男)

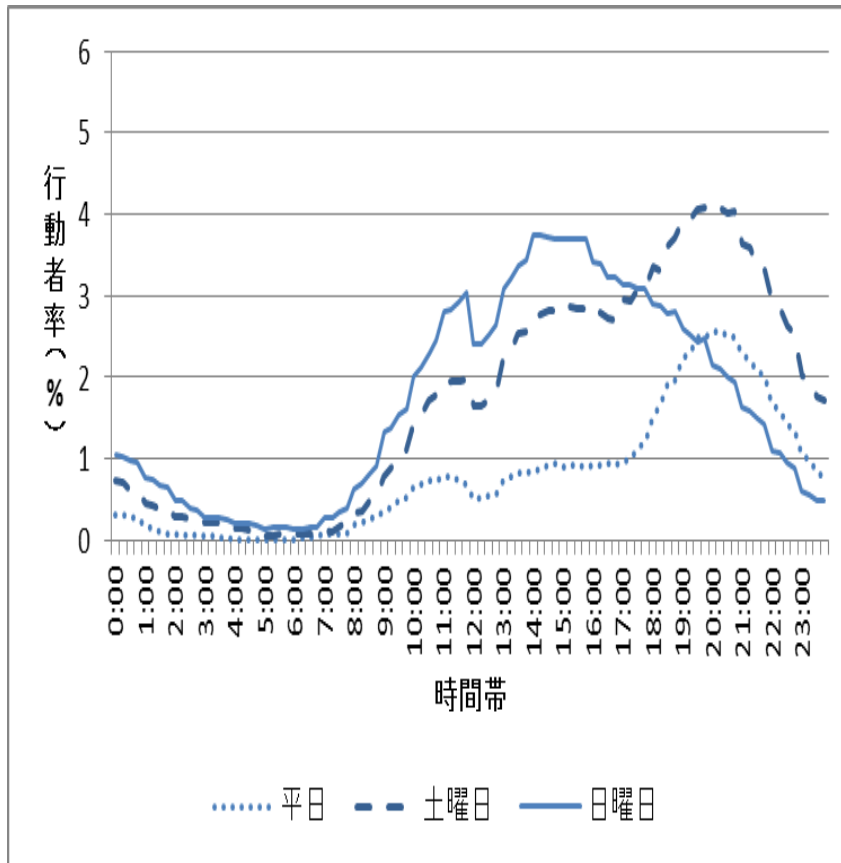
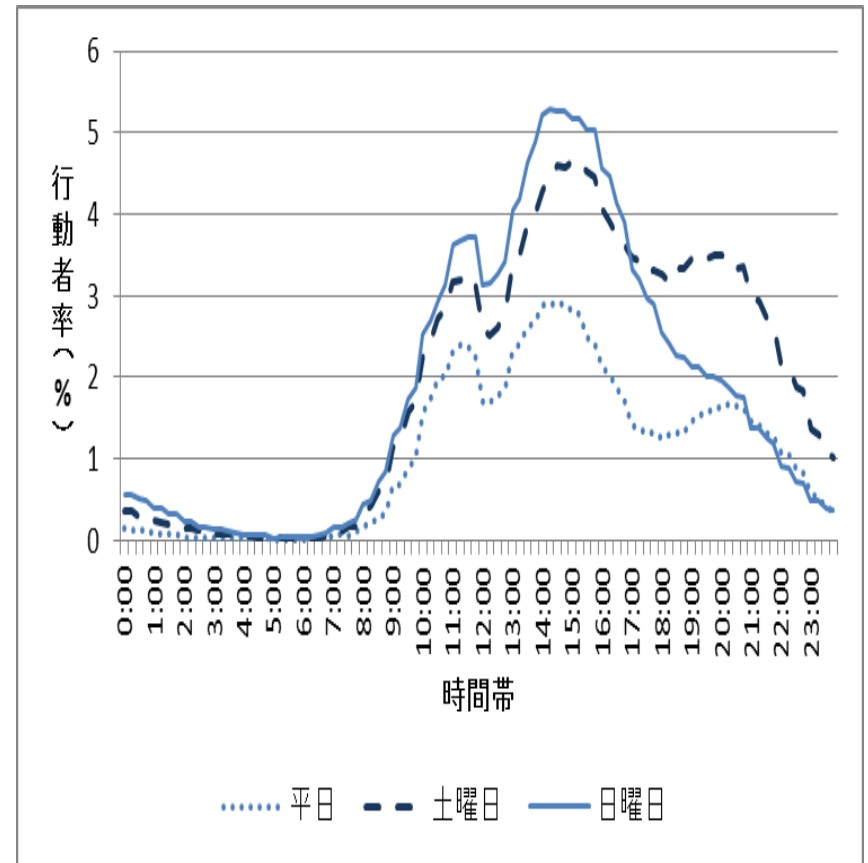


図11: 時間帯別交際等行動者率(女)



資料: 総務省「社会生活基本統計」(2016年調査)

「社会生活基本統計」の利用例

図12: 時間帯別睡眠行動者率(男・高齢者)

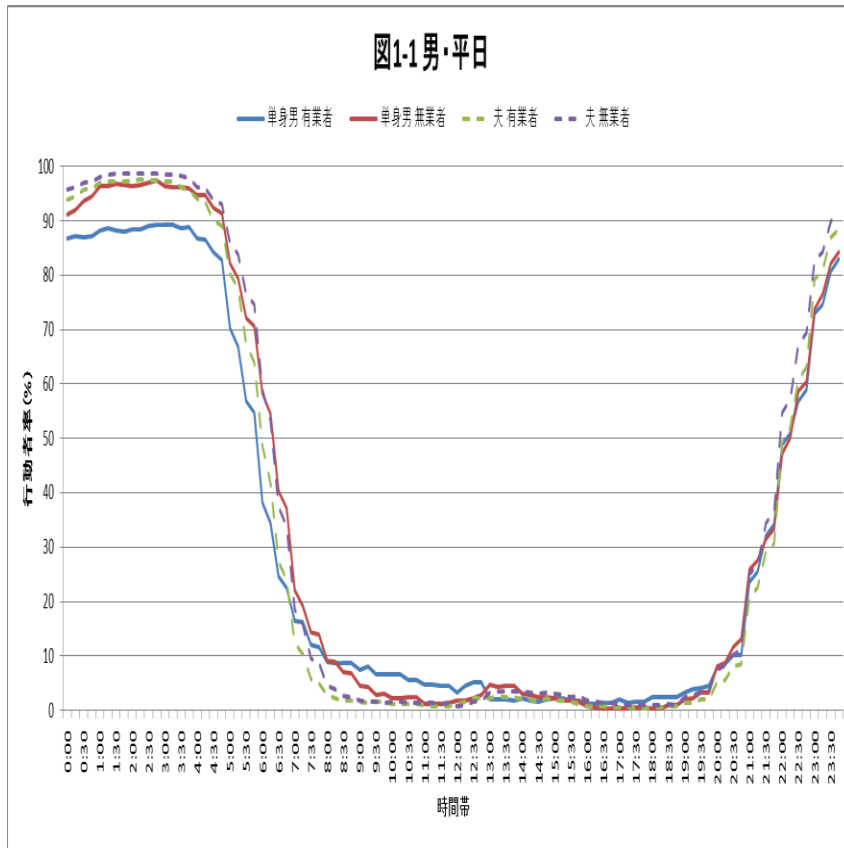
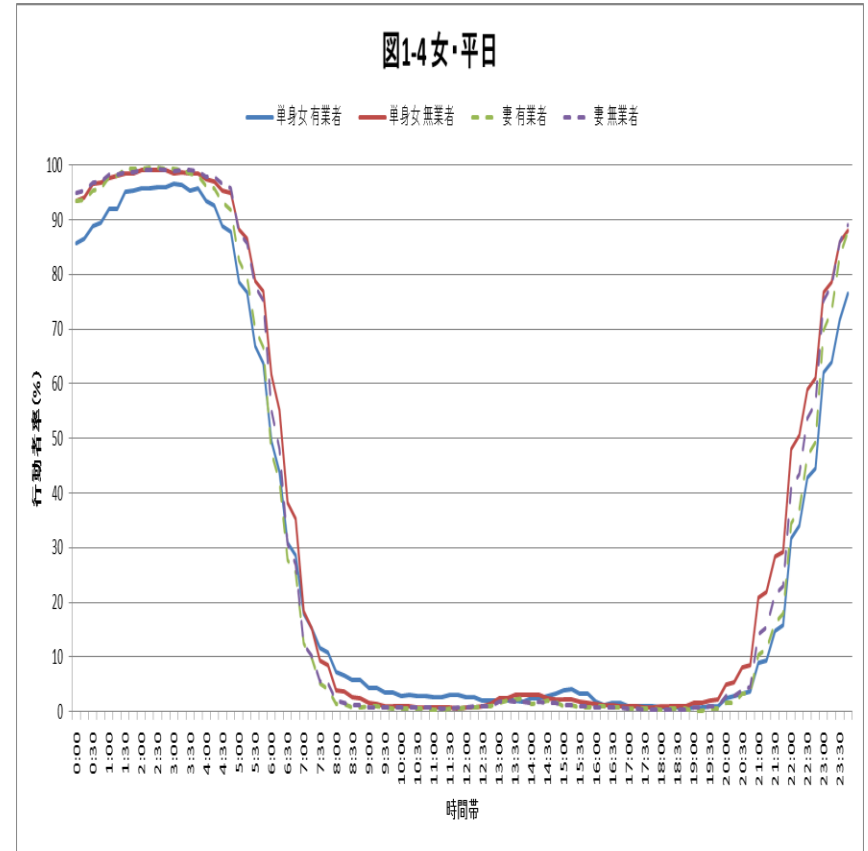


図13: 時間帯別睡眠行動者率(女・高齢者)



資料: 総務省「社会生活基本統計」(2016年調査)

「社会生活基本統計」の利用例

- 勤務間インターバル
 - 退社してから次回に出社するまでの時間の長さ
 - EUでは11時間以上あるのが標準とされる。
 - 総務省統計局が2011年（H23年）調査を使って勤務間インターバルを試算した。

「社会生活基本統計」の利用例

表1: 職業別勤務間インターバルと通勤時間・睡眠時間

職業大分類	勤務間インターバル					平均通勤 時間 (時間)	平均睡眠 時間 (時間)
	11時間未満の割合 (%)	第1四分位点 (時間)	中央値 (時間)	第3四分位点 (時間)	最頻帯 (時間)		
管理的職業従事者	8.7	12.5	13.9	14.8	14.0-14.9	0.82	7.20
専門的・技術的職業従事者	14.1	12.1	13.8	15.1	14.0-14.9	1.05	6.93
事務従事者	6.0	13.2	14.5	15.4	15.0-15.9	1.08	6.93
販売従事者	13.8	12.0	13.5	15.0	13.0-13.9	0.88	7.27

資料：総務省「我が国における勤務時間インターバルの状況」<http://www.stat.go.jp/data/shakai/mtopics/pdf/mt02.pdf>

総務省「社会生活基本統計」平成23年調査

注：勤務間インターバルの集計方法と通勤時間・睡眠時間の集計方法とは異なっている。

表12.3 職業中分類(専門的・技術的職業従事者)別勤務間インターバルと通勤時間・通学時間

職業中分類 (専門的・技術的職業従事者)	勤務間インターバル					平均通勤 時間 (時間)	平均睡眠 時間 (時間)
	11時間未満の割合 (%)	第1四分位点 (時間)	中央値 (時間)	第3四分位点 (時間)	最頻帯 (時間)		
技術者	15.7	11.7	13.3	14.6	13.0-13.9	1.52	6.73
保健医療従事者	8.9	13.2	14.4	15.6	14.0-14.9	0.78	7.03
教員	18.8	11.6	13.3	14.8	14.0-14.9	1.07	6.72
その他の専門的・技術的職業従事者	11.3	13.1	14.5	15.5	15.0-15.9	0.87	7.10

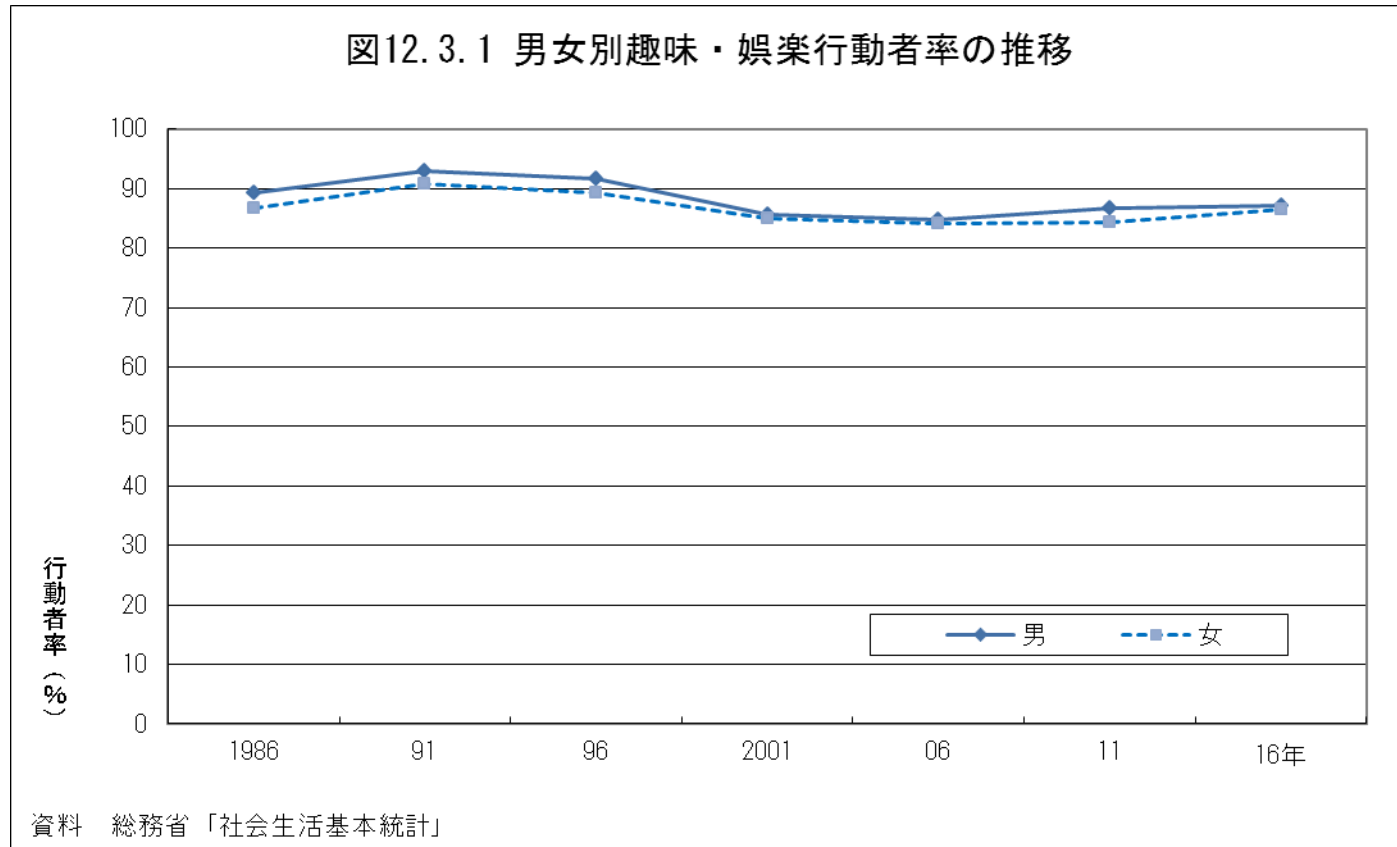
資料：表12.2に同じ

「社会生活基本統計」の利用例

- (過去1年間の)生活行動に関連する結果
 - － 行動者
 - 調査日(10月1日)の前1年間に当該の活動を行った者。
 - － 行動者率
 - 行動者数/人口
 - － 男女・年齢階級別など、特定の集団についても計算されている。

「社会生活基本統計」の利用例

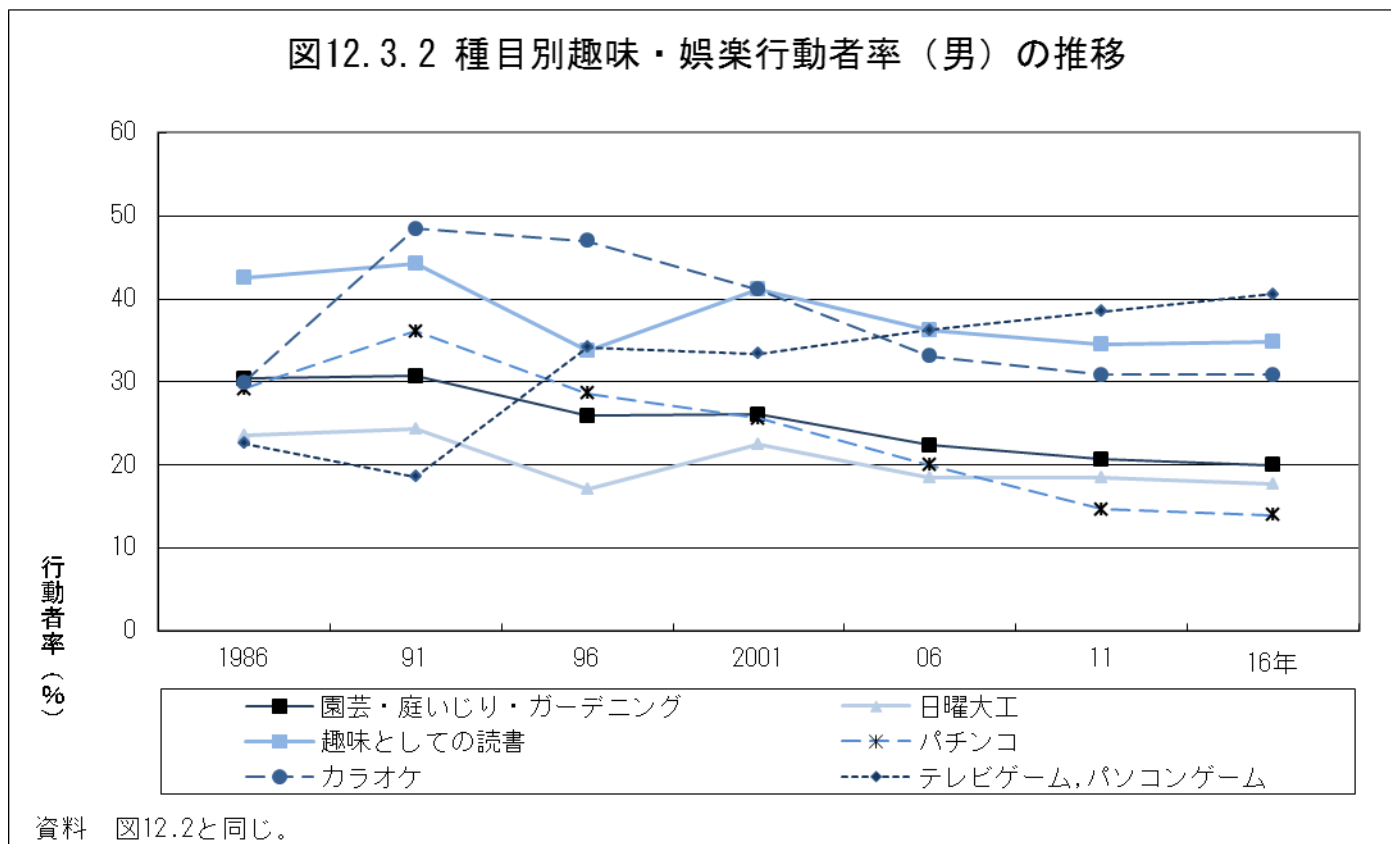
図14: 男女別趣味・娯楽行動者率の推移



資料: 総務省「社会生活基本統計」

「社会生活基本統計」の利用例

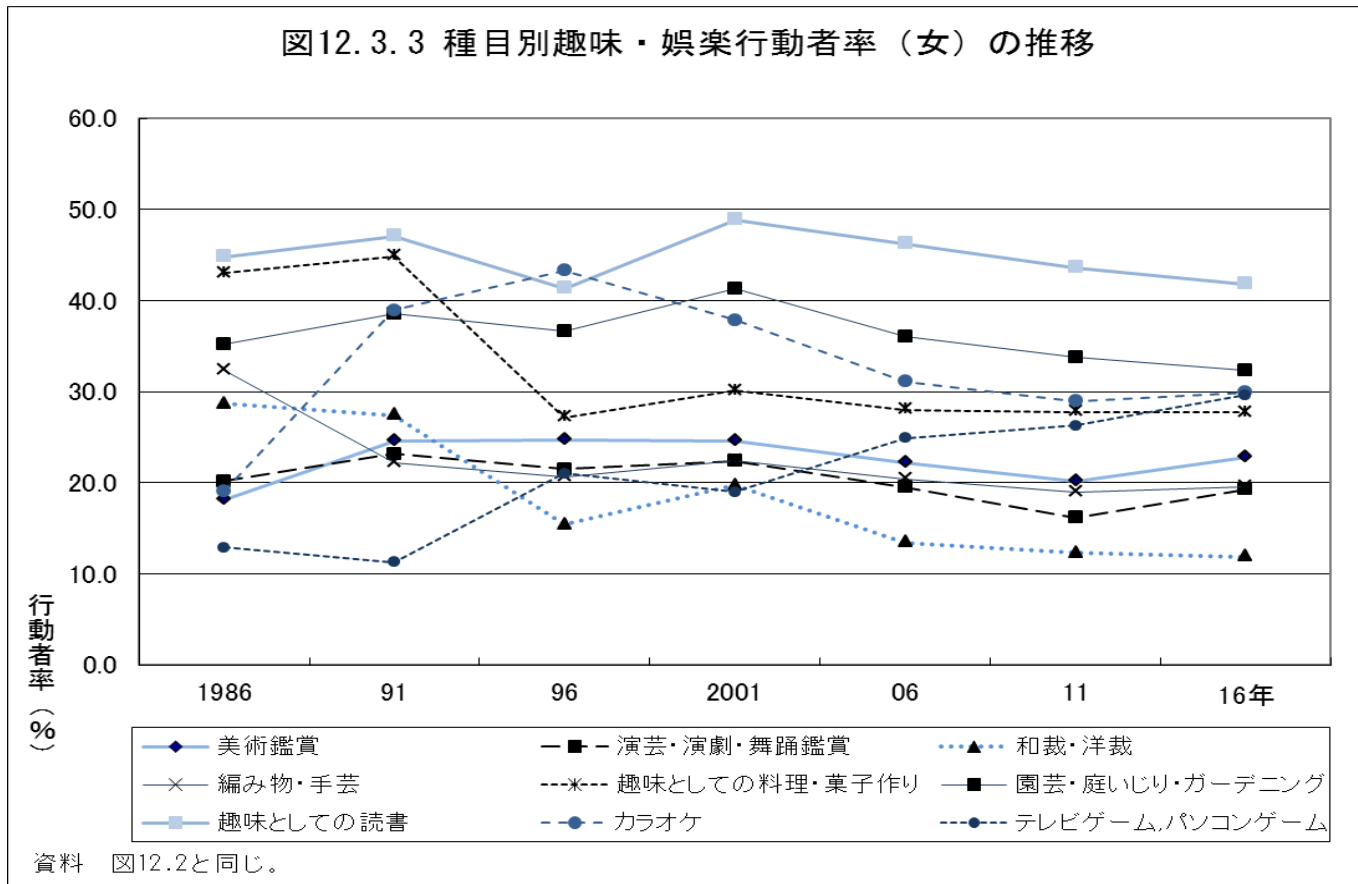
図15: 趣味・娯楽の種類別行動者率の推移(男)



資料: 総務省「社会生活基本統計」

「社会生活基本統計」の利用例

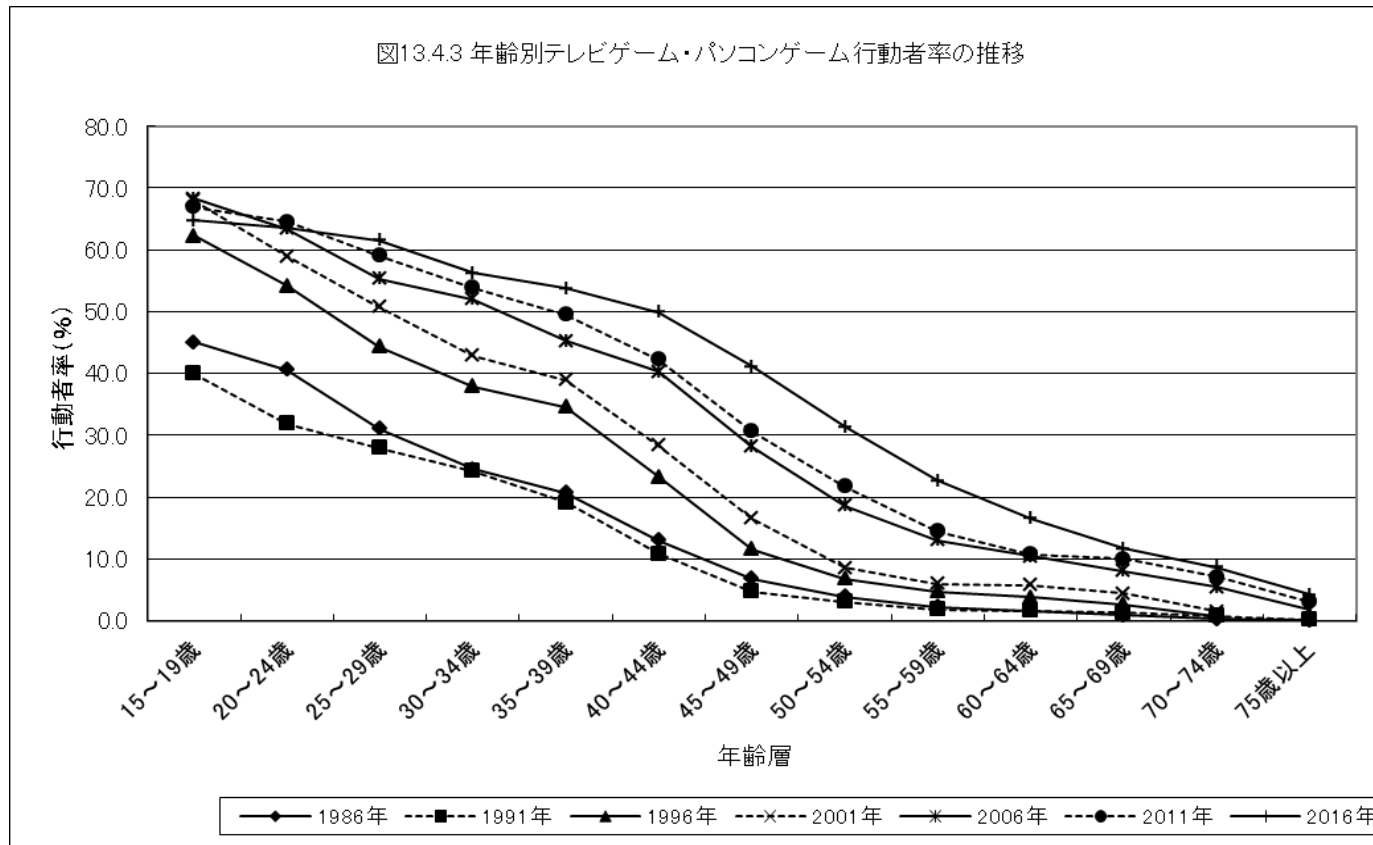
図16: 趣味・娯楽の種類別行動者率の推移(女)



資料: 総務省「社会生活基本統計」

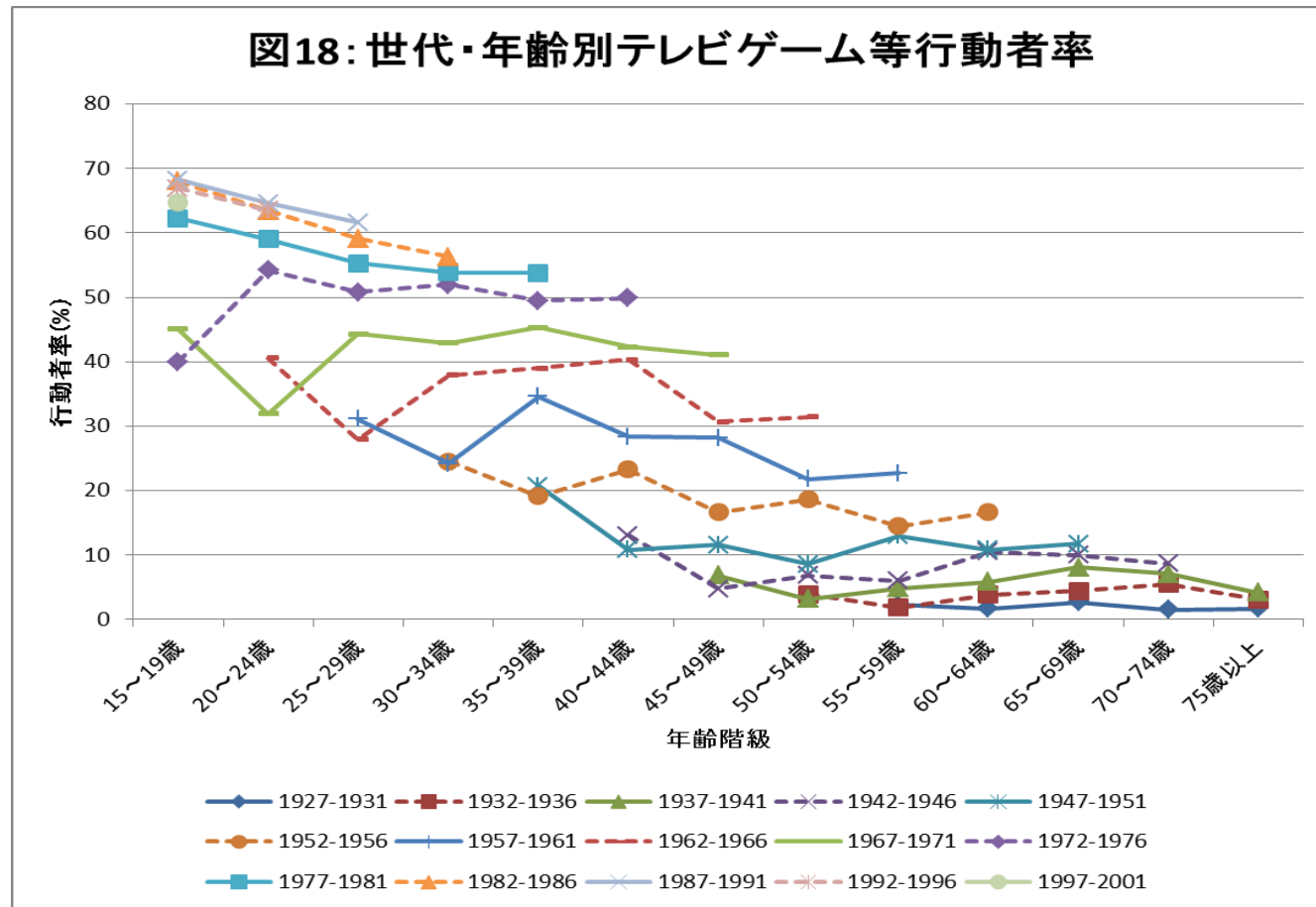
「社会生活基本統計」の利用例

図17: 年・年齢別テレビゲーム・パソコンゲーム行動者率の推移



資料: 総務省「社会生活基本統計」

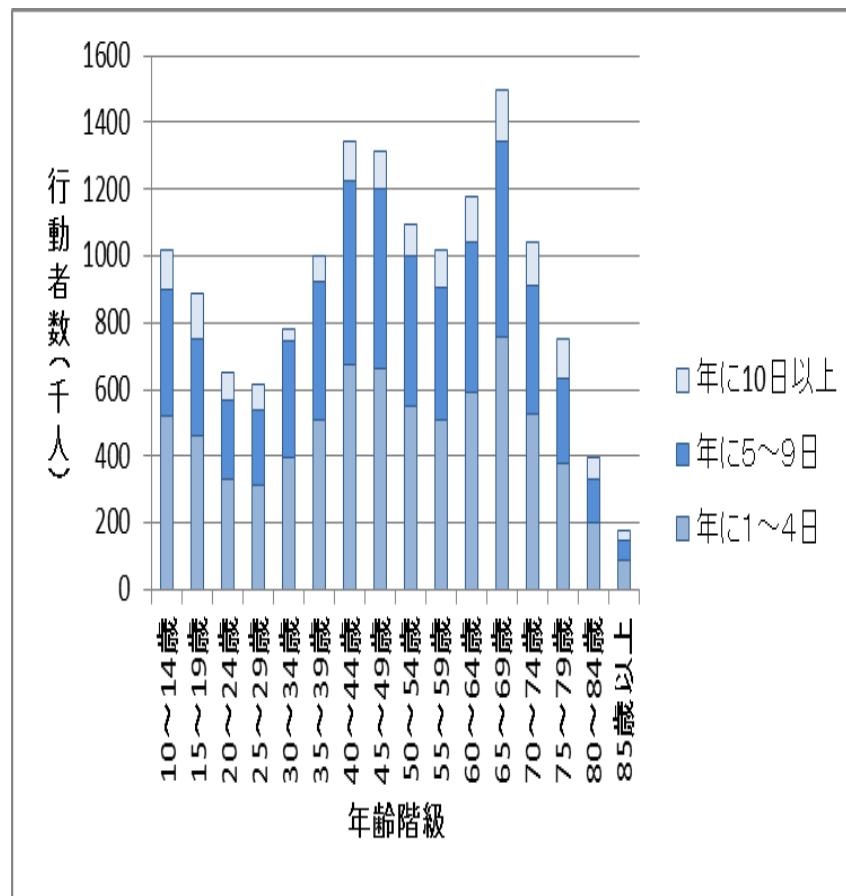
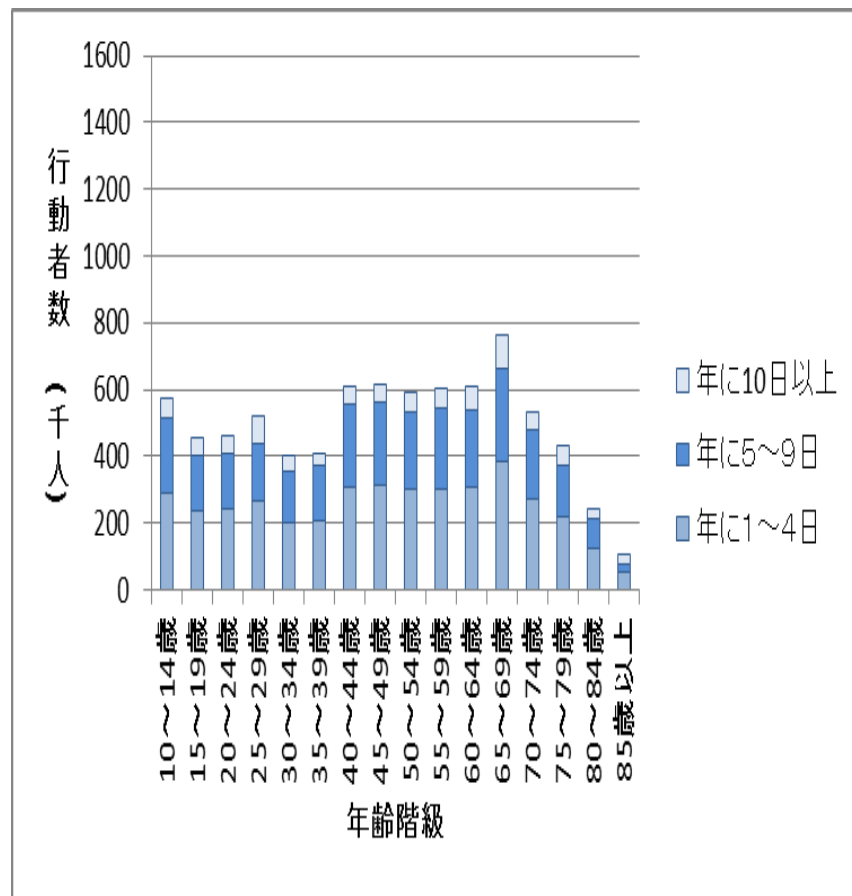
「社会生活基本統計」の利用例



資料: 総務省「社会生活基本統計」

「社会生活基本統計」の利用例

図19: 音楽会などによるクラシック音楽鑑賞の年齢階級・頻度別行動者数(左: 男; 右: 女)



資料: 総務省「社会生活基本統計」(2016年調査)

参照文献等

- 総務省統計局website
 - <http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/index.html>
- 総務庁統計局監・日本統計協会編
『生活時間とライフスタイル』日本統計協会
2000年
- 西郷 浩(2018)「生活時間からみた単身者」
『統計』(日本統計協会)第69巻第4号(2018
年4月号)20-25.

参照文献等

- 永山貞則・勝浦正樹・衛藤英達編著
『ワーク・ライフ・バランスと日本人の生活行動』日本統計協会 2010年
- 日本統計協会『統計でみる日本』
 - 2015年、2016年：第13章 余暇活動
 - 2017年、2018年(、2019年)：第12章 余暇活動